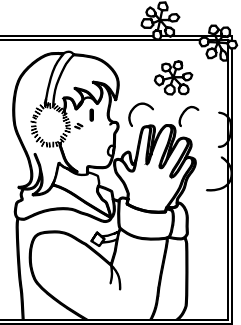


六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校
平成 27 年 1 月 25 日(日)No.12
E-mail isobesho@itoigawa.ed.jp
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



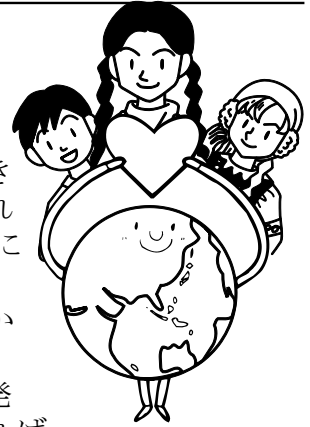
美しい日本海 豊かな自然 子どもたちの笑顔いっぱい磯部小

子どもたちと共に未来を考える時 校長 高橋 雅史

福島第一原子力発電所の原発事故により、ふるさとの自然と生活を人々が取り戻すことは、相当の年月をかけても容易にできそうもありません。私はこのことがニュースなどで取り上げられる度に、20年ほど前に行った6年生の社会科の授業のことが心に浮かびます。

原子力発電について調べ学習をした後、「原子力発電が必要かどうか」について賛成派・反対派に分かれて討論を行いました。

「原子力による電気がなければ生活が成り立たない」「原子力発電は安全でクリーンな発電システムだ」「いずれ石油がなくなれば、原子力しか頼るエネルギーがない」これらが賛成派の意見でした。「万が一事故が起きたら大変だ」「絶対に安全などということはない」「発電で使い終わった放射性物質はどうする」などが反対派の意見でした。全体的に賛成派が多数を占めていました。



最後の質問を2つ用意していたので、子どもたちに聞いてみました。「午後8時を過ぎたら、テレビやエアコン、ゲームセンターなど日本中の全ての電気を使わないでがまんするようにすれば、原子力での発電は必要ないそうです*。みなさんは、がまんですか？」全ての子どもの答が、「絶対にがまんできない、それは無理」でした。一度経験した楽しみや便利さを捨て去ることは、私たち人間には容易ではないようです。2つめの質問をしてみました。「原子力発電が必要で安全ということなら、もし仮にこの町に原子力発電所を建てるとしたら、賛成できますか？」

教室内では、改めて様々な意見が飛び交い始めました。さて、磯部の子どもたちにこの質問をしてみたら、どんな答が返ってくるでしょう。

「沈黙の春」(レイチェル・カーソン著 青柳 築一訳 2001, 6, 25 新潮社)という本があります。1962年に出版されたこの本は、農薬や化学薬品などの大量使用によって、やがて自然の生態系が破壊され、花も咲かず、虫もこない文字通り「沈黙の春」が訪れることを警告しています。人間が「快適で便利に進んだ生活」を維持するために自然界そのものを破壊しつつあることを、著者は大変な危機として告発しています。50年前に比べ一世帯当たりの電気使用量は3倍近く増えています。そして、その増えた電気使用量の多くは「人間の快適さや便利さや進んだ生活」のために消費されています。

私たち大人は、それが学校教育であろうと家庭・地域の生活であろうと、しばしば、「便利＝善 開発＝善 効率＝善 経済発展＝善 自分の得になること＝善」そんな発想を、意図しないうちに価値観として子どもたちに示してきたのかもしれない。そして、それらの価値観は、私たち大人が学校教育や家庭教育の場で、子どもたちと共に考え、見直していかなければならない価値観ではないかとも思います。なぜなら、今、現実に突きつけられている様々な問題は、現代の子どもたちの未来・将来を左右するとてつもなく大きな問題だからです。

*その当時は、このような試算がありました。現在の電力事情とは状況が異なるので現在は、あてはまりません。

校長室から

今年も、よろしく お願いいたします



平成27年がスタートいたしました。

今年も職員一同磯部小学校の教育活動に精一杯努めてまいりたいと思います。地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力を今年もよろしくお願いいたします。



さて、始業式の日には、どの教室でも子どもたち一人一人が今年のためあてを立てたり、みんなの前で発表したりしていました。得意なことを考えたり、苦手なことの克服を目指したり、内容はそれぞれです。ところで、中には“めあて”や“目標”を立てることに精力と知力を使い、“実践”や“継続”などの行動には重きを置かない子どもたちも(あるいは大人でも?)いるようです。大切なことは、めあてを立てることより実践のはずなのですが…。

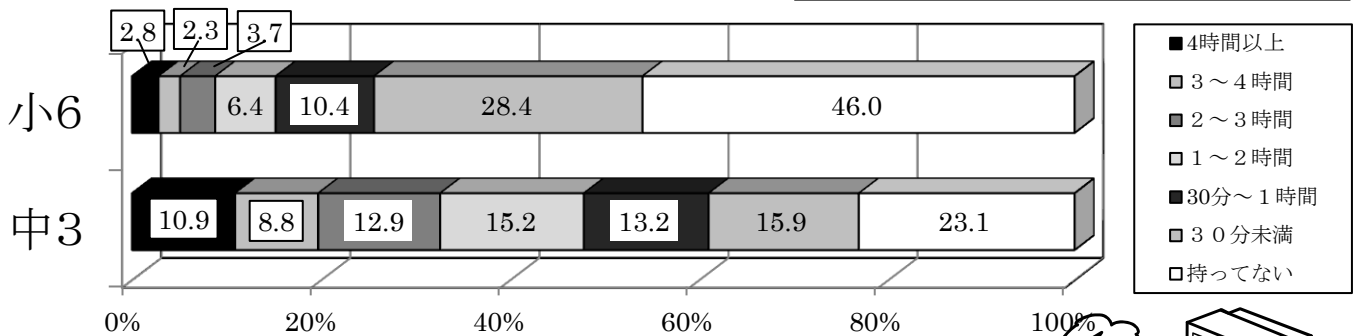
今年のためあてや決意が、立てるために立てためあてや決意に終わらないよう、“明日から”や“この次から”ではなく、“今から”継続してほしいと思っています。

子どもたちの生活の中で

自分でメディアとのかかわり方を コントロールできる力がとても大切

【 1日あたりどれくらい、スマホや携帯でメール・インターネット・通話をするか 】

*平成26年度全国学力・学習状況調査より
*スマホ・携帯でのゲーム時間は除く



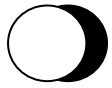
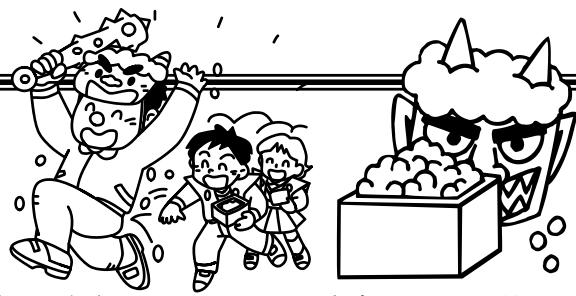
上のグラフには、通話・メール・インターネットの時間は含まれていませんが、インターネットゲームだけでも一日3時間以上すると答えた小学6年生は全体の約10%、中学3年生では20%にのぼり、ゲーム以外のインターネットとメールを合わせると、子どもたちは膨大な時間をスマホに奪われていることとなります。



親にも見られずに自分一人で自由に使えるスマホやインターネットのできるゲーム機。子どもたちがこれらのメディアとのかかわり方を自分でコントロールできる力を育てることは何よりも大切です。大人が真剣に耳を傾け真剣に考えなければならない時です。「インターネットと子どものかかわりについて規制がなく、野放し状態なのは日本だけ」という驚くような報告もだされているのです。

2月の主な行事予定

- 3 (火) 児童集会, 祖父母参観日
- 4 (水) 全校朝会
- 5 (木) スキー教室(3~6年)・雪遊び(1・2年) = シャルマン火打スキー場
- 9 (月) スキー教室雪遊び予備日
- 10 (火) 全校SST
- 12 (水) 子ども貯金日, 委員会活動, 校内版画展~20日
- 18 (水) 児童朝会, 金管移杖式, 学習参観日
- 20 (金) 第2回移行学級
- 25 (水) 発表朝会
- 26 (木) PTA三役会, PTA委員会
- 27 (金) 委員会活動



1月の磯部小学校



一月九日に、校内での書き初めを行いました。硬筆と毛筆を組みました。



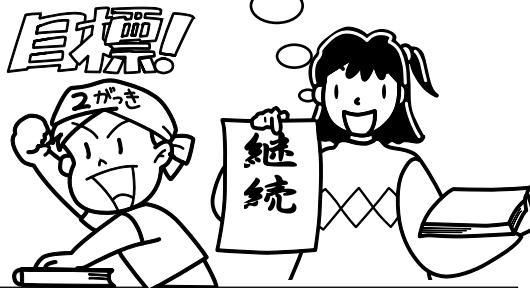
児童朝会で、インフルエンザ予防について、全校のみんなで作りました。



新年の決意・作文紹介



3学期始業式に発表した新年のめあてをご紹介します。



【一年 小じまはるな】

わたしは、三学期にがんばりたいことが、三つあります。

一つ目は、かんじドリルです。だんだんむずかしいかん字がでて、ていねいにかくのがむずかしいからです。

二つ目は、さんすうです。ひきさんをけいさんするのをがんばりたいです。すぐくむずかしいですが、しっかりとかきたいです。

三つ目は、しよしゃです。きれいにとめ、はね、はらい、をなんどもれんしゅうしたいです。

三学期もしゅうちゅうしてがんばりたいです。

【二年 土肥 知代】

わたしが、がんばりたいことは、図工です。学校で、作ったこともないものを作りたいです。

つぎにがんばりたいことは、九九れんしゅうです。二学期ちゅうには、おわらなかつたけど、三学期には、ぜんぶいえるようになりたいです。そして、三学期には、いろいろなことにちょうせんしてみたいです。

【三年 保坂 龍我】

ぼくが三学期にがんばりたいことは二つあります。

一つ目は、ドリルです。漢字ドリルはさいごになってあわててやっています。三学期はあわてないように少しずつやっていきたいです。

二つ目は、進んで手をあげることです。二学期はぜんぜん手をあげることができませんでした。だから三学期は、進んで手をあげ自分のけんをそびえようと思います。

三学期は、この二つをめあてとしてがんばりたいです。

【四年 山崎 穂乃】

私は三学期にがんばりたいことが三つあります。

一つ目は算数です。むずかしい問題は答えを出すまできちんと考えたいです。

二つ目はドリルです。最初の方は少しやっても途中でやるのをサボって後にためてしまうので、三学期は毎日少しずつやっためないようにしたいです。

三つ目は理科です。実験の後のまとめの意味があまり分かっていなくてもノートにうつしておわってしまうので、分からなかったら聞いてきちんと分かっからおわりにしたいです。

三学期はこの三つを目標にがんばりたいと思います。

【五年 塚田 羽湖】

私が三学期にがんばりたいことは、二つあります。

一つめは、あいさつです。登校の時や学校にいる時もあいさつをしっかりしたいです。

二つめは、家に帰ってからの時間の使い方です。だからだらしがないで、すぐに勉強をしたいです。一日五十分以上勉強するようになりたいです。

三学期は、この二つのことを目標にしてがんばります。



【六年 内山 穂乃】

私は、三学期にがんばりたいことが二つあります。

一つ目は、漢ドと計ドです。二学期は、しめきりまでにおわらなかつたので、三学期は、毎日コツコツやっておわらせたいです。

二つ目は、金管です。二月に移杖式があるので、四年生に分かりやすくていねいにおしえていきます。

もうすぐ卒業なので、残りの小学校生活を楽しくすごしたいです。

発表した皆さん以外の人たちも、それぞれめあてをたてたことでも、大切なことをたてて継続してくださいね。大事なことを行っていきましょう。

